

5 定期テストに向けて

定期テスト 2 週間前

1 テストに向けた学習計画

定期テストの 2 週間前になると、教科担任の先生が定めたテスト範囲表とテストに向けた家庭学習の計画表が配布されます。テスト範囲は広いうえに、勉強しなければいけない科目もたくさんあります。やみくもに進めていると、テストが直前に迫ってきて、「どうしよう、範囲の復習が終わっていない…」などと慌てることにもなります。いつ、どの教科をどれだけ学習するのか、よく考えて表に記入します。

計画表が完成したら、担任の先生に点検してもらい、実行していきます。

<家庭学習の計画表> 昨年度のものです。

令和2年度 前期中間テストにむけて(家庭学習の計画)

《テスト日程》

	2020/9/10(木)	2020/9/11(金)
1	理科	数学
2	技術・家庭	社会
3	英語	自習・保体
4	国語	授業
5	授業	授業
6	授業	授業

2 年 組 番氏名

目 標	テストに向けて、目標を立てます。 例：計画を必ず実行する！
-----	---

	国語	社会	数学	理科	英語	5科計	順位	保体	技・家	全 計
目標点							/			

《家庭学習の計画》

目標点（100 点満点）を入れます。

期日	曜	行事等	国語	社会	数学	理科	英語	保体／技・家	反省
8/26	水	運動会練習							
8/27	木	学年朝会 運動会練習							
8/28	金	運動会練習							
8/29	土								
8/30	日								
8/31	月	運動会総練習							
9/1	火	一斉登校指導 運動会練習							
9/2	水	運動会予行							
9/3	木	運動会準備							
9/5	土								
9/6	日								
9/7	月	部活休止							
9/8	火	部活休止							
9/9	水	部活休止							
9/10	木	期末1日目 部活休止							

□テスト学習計画作成手順の例

リストにする

➡

優先順位を決める

- ① 右ページの学習のポイント・アドバイスを参考に、その教科でやるべき学習内容をリストにします。
例：社会 ○教科書・ノートのポイントを書き出す。
○暗記用の一問一答を作る。
○ワーク○ページ～○ページ
○单元テストのやり直し
- ② やるべきリストの優先順位を決めて、いつやるか表に書き入れています。
- ③ 予定通りに進まないときは、別の日に計画を修正していきます。

※テストの結果が出たら

テストが返されたら、結果（点数）を記入しておきます。

	国語	社会	数	理	英語	5科計	順位	保体	技・家	全 計
結 果							/			

➡

<テスト試験範囲一覧>

前期中間テスト 試験範囲一覧

第 2 学年

教科	試験範囲	試験内容	ワークページ	学習のポイント・アドバイス
国語	P16/17 見えないだけ P16～P27 アイスプラネット P32/33 林彦子 P39/40 熟語の構成 P42～P48 生物が記録する科学 p61/62 類義語対義語多義語 チャレ漢 NO1 と NO2	・チャレ漢 NO1 は読みのみ。NO2 から書きを出します。読み10問、書き10問 ・ワーク p4～p13・p15～p24・p28～p34・p40 ・該当する単元テスト		・熟語の構成、類義語対義語多義語はワークの問題のみ出します。何度も解き直しておきましょう。 ・ワーク、単元テストをくり返し解き直すこと。 ・古文は、現代仮名遣いに直す問題と、現代語訳を聞かれる問題との違いに注意しましょう。
社会	歴史 教科書 p85～101 大航海時代によって結ばれた世界 戦乱から全国統一へ 地理 教科書 p119～166 日本の姿 世界と比べた日本の地域的特色	ワーク (学習ノート) 資料集 単元テスト 6(1年時に配布した) ワーク (学習ノート) 資料集 単元テスト 9(1年時に配布した)1・	2～7 1～5 70～83 2～29 1～14 94～139	・教科書、ノートを何回も見直す。 ・ワークを何度もやって覚える。 ・時差の問題はワークで定着させる。 地形図の読み取り方は、出題しません。
数学	1章 式の計算 すべて 2章 連立方程式 (プリント NO11 代入法まで)	ワーク 1章 式の計算 2章 連立方程式 (連立方程式の解き方まで)		プリントを中心(授業で行った問題)に出題します。 また単元テストの問題もやっておきましょう。 ワークはテスト終了後に集めます。
理科	【物質分野】 化学変化と原子・分子 ・教科書 p124～179 ・ワーク p54～85	1章 物質の成り立ち 2章 物質を表す記号 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量		○教科書やノートをよく見直すこと。 実験の方法や注意点、実験の結果は整理しておきましょう。 ○ワーク・単元テストを解き直す。 ○化学式、化学反応式は暗記する。
英語	教科書 p.6～p.29 プリント・Step up Talking Lesson 1・一般動詞の過去形 Let's Talk 1・道案内 Lesson 2・be動詞の過去形 過去進行形・接続詞 Let's Talk 2・もし雨が降ったら Lesson 3・will・be going to ～ 接続詞 that	・理解の内容:聞き取りの問題・読解の問題 ・表現の内容:進出文法を使用して自分のことを表現する問題 ・知識の問題:英作文の問題他 *過去形と現在形の問題 *過去進行形の問題 *接続詞 when の問題 *will と be going to を使った未来の英文表 *接続詞 that の問題		・授業で学習したことをノートや教科書を使って復習する。 ・チェックを書けるようにする。 ・プリントを復習する。 ・Step Up Talking を復習する。 ・ノートの動詞のページを練習する。
		「計画的に」: 苦手な分野は2回復習する日や設けるなど、計的に教科を入れよう。		「具体的に」: 学習するページ数や暗記する方法、練習回数などを具体的に書こう。
保健体育	【男女とも同じ範囲です】 教科書 P46～57 ノート P2～17, 34, 35, 38, 39	1 健康と環境 2 環境への適応能力 ～生活に伴う廃棄物の衛生的管理 3 休めよう運動、陸上競技		保健分野は、教科書、ノートを見直しておく。 体育分野は、ノートの見直しと授業内容を再確認しておく。
技術・家庭	【技術】 教科書 P200～215 の学習した所 ノートの P92, 94, 95, 98 の学習した所 【家庭】 教科書 P22～34、ノート P10～17 (食品群まで*食品群別摂取量の目安は除く)	1 プレゼンテーションソフトの利用方法 2 表計算ソフトの利用方法 3 データ庫・情報通信ネットワーク 4 情報セキュリティ: 情報を安全に利用 1 食事の役割、食生活の課題 2 栄養素の種類とはたらき		プレゼンソフト、表計算ソフトの利用方法を確認しておく。 ノートの P92, 94, 95, 98 を確認しておく。 教科書、ノート、授業で学習した調理内容、ポイントをよく見直しておく。栄養素のはたらき、食品がどの
反省	テストが終了し、結果が帰ってきたら、学習の反省を記入します。			

2 テスト3日前

部活動が中止となります。時間を有効に使って、学習を進めましょう。

3 テスト当日

- ・制服を着用して受験します。
- ・テストの際は、机の中の学習用具はロッカーにしまします。机いすの周りに置かないようにします。
- ・机の上には、使用する筆記用具、必要な定規やコンパスのみとし、ペンケースもロッカーへしまします。
- ・国語、数学、英語 3 教科は 50 分、理科、社会は 45 分、保健体育、技術・家庭、美術、音楽は 20 分～30 分で実施します。
- ・テスト開始 5 分前には、問題用紙が配布されるので、早めに着席して、静かに待ちましょう。
- ・テストが終了したら、問題用紙は後日授業や復習に使うので、紛失しないように、ファイルにとじるなどして、保管しておきましょう。